

須坂建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般国道403号 須坂市 幸高地区 (県単道路橋梁維持(歩道リメイク)事業)

- 国道403号は長野地域や須坂長野東ICから須高地域へアクセスし、地域生活に密着した重要な道路。
- 須坂市幸高は交通量が多いものの歩道幅員が狭く段差が多いため、歩行者の安全確保が求められていた。
- 平成23年度より0.27km区間について歩道の段差解消工に着手。
- 井上小学校に接し、通学路にも指定されていることから、歩道段差解消工を実施。



事業概要

事業延長 L=270m
幅員 W=2.0m~3.0m
事業期間 平成23年度~平成27年度
平成28年3月 全線完成供用予定

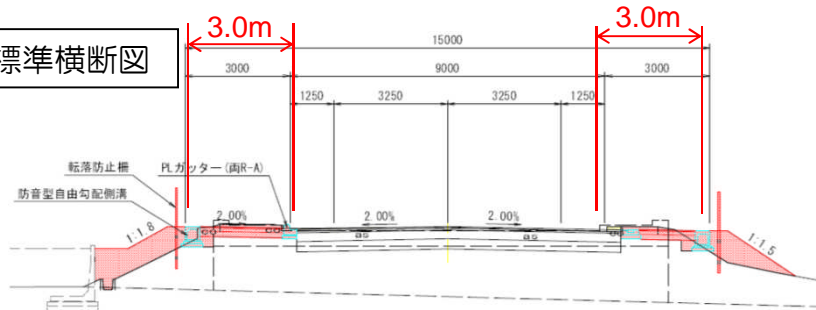
整備効果

平成14年3月に通学中の児童が交通事故により亡くなる痛ましい事故が発生した箇所であるが、段差解消工により、歩行者と自動車が共に安全に通行できる安全な道路になった。整備後、交通事故は発生していない。

概要図



標準横断図



整備前



整備後

須坂建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般国道403号 須坂市 幸高地区 (県単道路橋梁維持(歩道リメイク)事業)

【生活環境の向上】

①通学路の段差解消により、米持地区からの井上小学校への通学が安心して出来るようになった。

【通学路での事故：1件→0件】



【産業面】

②須坂市有数の工場が接する路線であるが、歩行者の安全が確保されたため、大型車の通行がスムーズになった。

【走行時間：5分短縮】

②



【その他】

③幸高橋を撤去し、今後の維持管理費を削減。

【削減額：約20百万円】

